

# 中越大地震から急上昇

## 当市自主防災組織率は100%

### 各単位で独自防災訓練

市自主防災組織連絡協議会(風間久司会長)は十七日午後、サンラックおぢやで総会を開催した。当市の自主防災組織の組織率は、県内二十市中唯一、一〇〇%となっている。今年度は「柏崎刈羽原発過酷事故発生」の想定で避難訓練が予定されている。総会に先がけて防災研修会も行なわれた。

自主防災組織は平成六年度から組織され始めたが、遅々として進まなかった。中越大地震を境に飛躍的に組織化が進んだ。地震前の十六年度は三十五地区六〇・三%だったが、十八年度は五十五地区八〇・四%までになった。その後も順次に組織され二十一年度は九十四組織九九・九%に達し、二十三年度までこの状態で推移。これは小規模町

### スラリ!

大量のゼンマイ干しをしてる姿があった。毎年思ふことであるが、この美味な山菜の保存法は誰が発見したのかと。雪国の幸せを感じる時。(東栄にて)

れも大きな地震を体験した市となっている。旧山古志村と旧川口町を合併した長岡市は八九・七%。組織率一〇〇%となった当市の昨年度は、各地で消火栓取扱・放水訓練や備品点検などを実施。

山谷自主防災会は十一月四日、避難訓練・救急講習・炊き出し訓練、戸屋・冬井自主防災会は十一月十日に避難訓練を行なった。八島(片貝)自主防災会は十一月四日、原発対策の概要を学習、唯一原発を対象とした。所管の危機管理課は九月三十日、小千谷小学校グラウンドで市街地の十六自主防災組織参加の大きな総合防災訓練を実施。

### 放射線と放射能基礎講座

技科大の松本助教

総会に先がけて、長岡技術科学大学の原子力安全系助教・松本義伸さんによる「放射線基礎講座」を開催した。松本さんは「放射線とは、放射性物質が壊変する際に放出される光子や運動エネルギーを持つ素

そなえ館は七月と十月の二回、防災まちづくり講座を開催した。今年度の大きな事業としては、原子力発電所の過酷事故対応。市は先頃、地域防災計画原子力災害対策編を策定したが、これに基づき今年度は「避難行動マニュアル」を作成、市内何力所かで説明会を行なう。市民に分かりやすい「ガイドブック」も作り全戸配布することになっている。柏崎刈羽原発の過酷事故想定で原子

### 山本山の沢山パーク

#### 今年の花畑はお休み

#### お盆頃にはヒマワリ

市は山本山沢山パーク濃川の蛇行など絶好のロケーションだけに、菜の

### 菜の花

精込めた約三十点を展示。また手持ちのさつき鉢植え持参者を対象に、手入れ方法等の「さつき教室」を八日午後二時からと九日午前十時から実施(苗木進呈)する。

粒子、複合粒子で、イコール放射能ではない」と世間に誤解されている基礎的概念を説明。また、3・11直後、福島県被災地から避難した子供達が、各地の避難先でいじめの原因となった「感染」について「放射性物質や放射線は細菌などではないので、増殖や感染はしない」と分かり易く講義した。

力防災訓練を計画するが、対象地域・実施期日など詳細は決まっていない。その他、各自主防災会の総合防災訓練、防災シンポジウム開催及び参加助成、防災士資格取得研修への助成、関連行事参加などを予定している。



目に見えない山ほととぎす 初がつおー昔から初夏を感じさせる一句として有名。いまのわが地方にとっては、まさに「旬」の句で、青葉とは豪雪と闘った住民への山からの贈りものとして「山菜」を真っ先に挙げてみたい。市内の各家食卓に出回っている山菜は旬を食していると言って

大・小 宴会場 完備  
TEL 83-3520

5月25日 小千谷新聞  
秀和建設 株式会社  
小千谷市三仏生2533番地 TEL 82-0535

明日の住環境を考える  
株式会社 日乃出江口  
TEL 0258-47-4506 FAX 0258-47-4510  
TEL 0258-82-3137 FAX 0258-83-2264  
TEL 0258-89-2731  
空調・衛生・水処理設備・保守管理  
株式会社 アートサービス  
小千谷市城内2丁目4番11号 ☎(0258)82-3057

即進物 おみやげに  
小販売および地方発送も承ります  
http://takeuchiseika.com  
星月堂

好評発売中!  
新潟県産 またたびシリーズ  
~ワイン風~  
越後またたび酒  
またたびカクテル (姉妹品)  
新潟県産 くわ茶  
新潟県産 またたび茶  
新潟県産 またたびの実  
またたびげんき豆  
またたびげんき煎

生そば 出前  
地方発送 核町店にて 承ります 行っておりません  
星月堂